

(配布先)
支店長・副支店長
施工担当部署長、建設所長
副部長・副所長・統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任

事務連絡(2023-06)
令和5年5月17日

関西支店 安全環境部長

墜落災害防止に向けた『親綱・緊張器』の確認について(指示)

過日、当社他支店の新築工事作業所において、大梁上で体重をかけた親綱が緊張器から抜け出し約4m墜落するという事案が発生しました(別紙1参照)。幸い、同僚が親綱を引張り落下速度が緩やかになったため不慮災害で済みましたが、親綱を挟み込む緊張器の金属部分の摩耗が大きく、親綱にも変色・硬化等の経年劣化が見られるものでした。

緊張器についてさらに調査したところ、仮設工業会の認定基準の変更にともない、他社製親綱で認定を受けた旧タイプと自社製親綱で認定を受けた新タイプの存在が判明し、今回は旧タイプのものを使用していたことが分かりました(別紙2参照)。

また、工場在庫の新旧タイプの緊張器と新品及び経年劣化した親綱を用いて抜けに関する試験を実施したところ、旧タイプの緊張器で経年劣化した親綱を使用した場合にのみ滑る事象があることが確認されましたが、完全に抜け出る事象は確認されず、今回のように完全に抜け出るということはごく稀なケースと思われます。

なお、ミルックスでは今回の事案を踏まえ、4月以降新タイプのみの出荷、旧タイプの廃棄を進めることとしており、親綱の端末処理を推奨するとのことです(別紙3参照)。

つきましては、墜落災害防止に向けた『親綱・緊張器』の確認について下記事項を作業所関係者に周知するよう指示します。

記

1. 今後、緊張器を設置する場合は、令和5年3月以前に入場した旧タイプの緊張器は使用せず、新タイプを使用する。
2. 現場に設置済みの緊張器については、新旧タイプを確認し、新タイプの場合は継続使用し、旧タイプの緊張器に経年劣化(変色・硬化等)した親綱が設置されている場合には、新タイプに入れ替えるか端末処理(別紙3参照)を実施する。

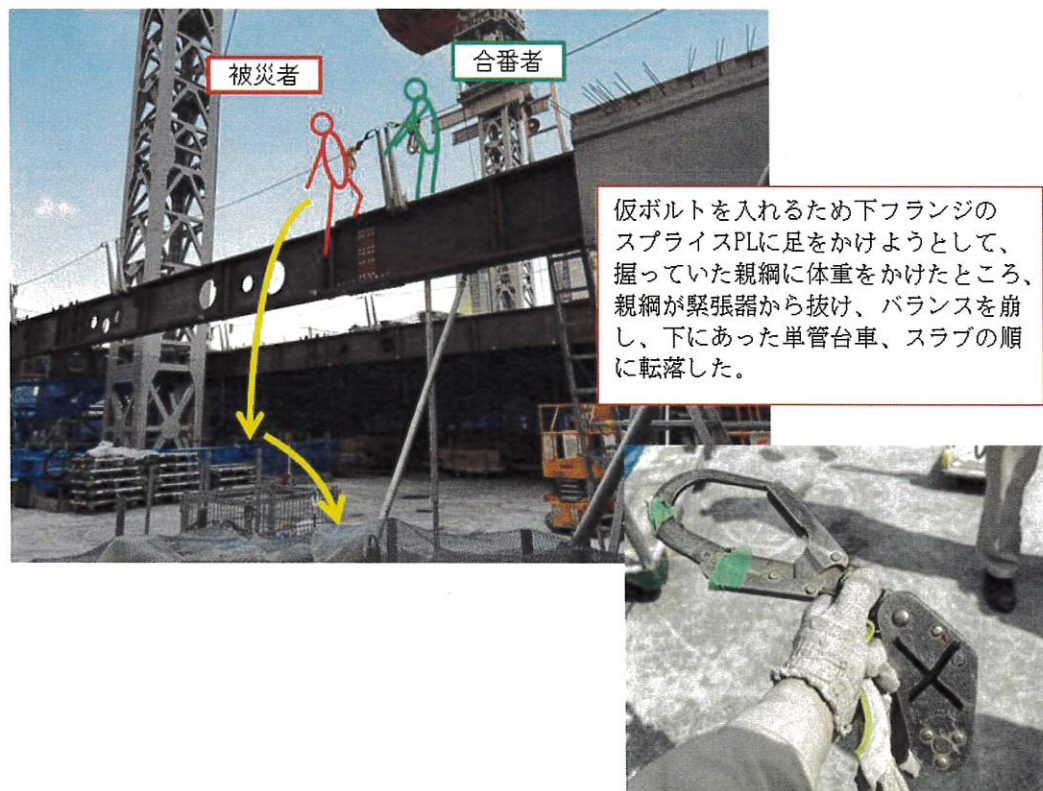
※この事務連絡は、事務連絡 23-07(令和5年5月16日)安全環境本部発行に基づき作成しました。

以 上

(墜 落) 大梁上に設置された親綱が緊張器から抜け出し約4m墜落

◇ 発生日時： 2023年3月10日 (金) 午前10:20分頃

◇ 被災者： 鳶工 23 歳 (所属 2次) 経験 5年7ヶ月

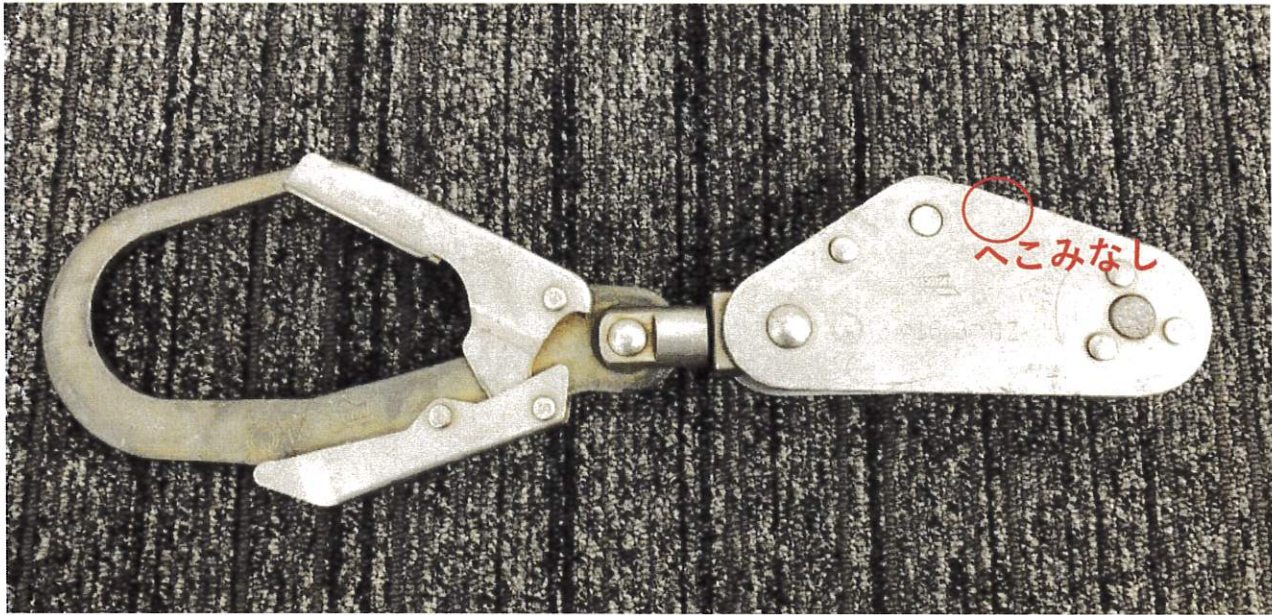


【発生状況】

9階大梁上で大梁鉄骨取付中、仮ボルトを入れるため下フランジのスプライスPLに足をかけようとして、握っていた親綱に体重をかけた際、親綱が緊張器から抜け出した。同僚が抜け出した親綱を引張ったため、落下速度は緩やかになったものの8階床に約4m墜落した。(安全帯は使用していた)

(打撲

) (休業見込日数 0 日)

新 タ イ プ	 A photograph of a new type metal tool, likely a wire cutter or plier, lying on a dark, textured surface. The tool has a curved handle and a flat, rectangular head. A red circle is drawn around a small indentation on the upper part of the head, with the Japanese text "へこみあり" (dent present) written in red below it.
旧 タ イ プ	 A photograph of an old type metal tool, similar to the one above, lying on the same dark, textured surface. The tool has a curved handle and a flat, rectangular head. A red circle is drawn around a small indentation on the upper part of the head, with the Japanese text "へこみなし" (no dent) written in red below it.

推奨する親綱の末端処理の例

